

今週のお祈り 降臨節第4 主日特禱

全能の神よ、み子の訪れによってわたしたちを清め、心の闇を照らしてください。主が来られるとき、主にふさわしい住まいを、常にわたしたちのうちに備えることができますように、父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 にちようがっこう
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ：03-3710-6031

号外 179

発行日
2023年
12月24日

日曜学校では今日の聖餐式でミュージックベルを奉演します。ミニクリスマス会もあるよ。みんなで喜びお祝いしよう！来週12/31(日)の日曜学校はお休みです。1/7(日)にお会いしましょう。楽しいクリスマスを☆



今週の聖書 ルカによる福音書 1:26-38

26 六か月目に、天使ガブリエルは、ナザレというガリラヤの町に神から遣わされた。27 ダビデ家のヨセフと言う人のいいなずけであるおとめのところに遣わされたのである。そのおとめの名はマリアと言った。28 天使は、彼女のところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」29 マリアはこの言葉にひどく戸惑って、これは一体何の挨拶かと考え込んだ。30 すると、天使は言った。「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。31 あなたは身ごもって男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。32 その子は偉大な人になり、いと高き方の子と呼ばれる。神である主が、彼に父ダビデの王座をくださる。33 彼は永遠にヤコブの家を治

め、その支配は終わることがない。」34 マリアは天使に言った。「どうして、そんなことがありえましょうか。私は男の人を知りませんのに。」35 天使は答えた。「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを覆う。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる。36 あなたの親類エリサベトも、老年ながら男の子を身ごもっている。不妊の女と言われていたのに、もう六か月になっている。37 神にできないことは何一つない。」38 マリアは言った。「私は主の仕え女です。お言葉どおり、この身になりますように。」そこで、天使は去って行った。

聖書からのメッセージ 司祭 橋本 克也

神の子キリスト・イエスの誕生の物語は、天使ガブリエルのみ告げから始まります。マリアはみ告げに戸惑い、恐れを抱きます。その不安を抱きながらもマリアは「お言葉どおり、この身になりますように」と答えられるのです。クリスマスは「私たちも愛された神の子とされている」という喜びと恵みです。それは、戸惑い、恐れ、いろいろな心配や不安を抱きながら、「この世界に、み心が行われますように」と、大胆に希望をもって神さまにお祈りする喜びの時です。